

## 4. 空港事業、漁港事業

※建設管理部で事業を実施

### (1) 空港事業（総合政策部所管）

#### ① 北海道の空港と航空需要

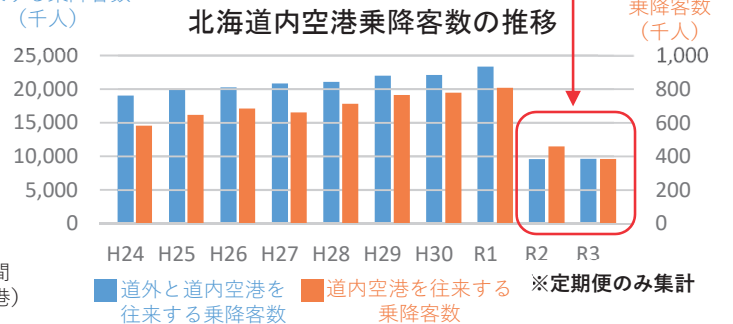
広域分散型の地域構造である北海道において、空港は、本州との往来はもとより、道内の移動においても重要な交通手段の一端を担っています。

道内空港位置図



空港の乗降客数はコロナ禍により激減。しかし、道外との往来に比べ、道内の往来は乗降客の減少は緩やかです。これは航空路線が生活路線として根付いているためといえます。

道外と道内空港を往来する乗降客数 (千人)



【出典：航空輸送統計調査（e-Stat）】

#### ② 空港の維持管理

北海道内にある13空港のうち、北海道では6空港を管理しています。安全かつ円滑に航空機が運航できるよう、空港では様々な業務を行っています。

##### ■ 空港管理業務

マーシャリング（係員による航空機の誘導）



航空会社以外の飛行機等は職員がマーシャリングをします

航空灯火の操作



航空機の離着陸の安全に直結する航空灯火の操作は常に緊張しています

消化救難訓練



除雪車を事故機に見立て、消防救難訓練を定期的に行っています

##### ■ 空港維持業務

滑走路補修



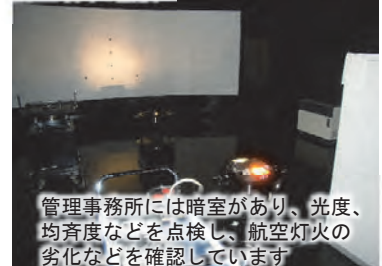
舗装ひび割れを計測し、補修を行います

除雪



空港の除雪は、スノーパーと呼ばれる空港ならではの除雪車も使います

航空灯火の点検



管理事務所には暗室があり、光度、均斉度などを点検し、航空灯火の劣化などを確認しています

### ③ 空港の整備

滑走路、誘導路、エプロンなど空港の基本的な施設及び航空灯火などの建設、改修を行い、ハード面から空港の安全を支えています。

#### ■ 滑走路、誘導路、エプロンの改良

滑走路改良

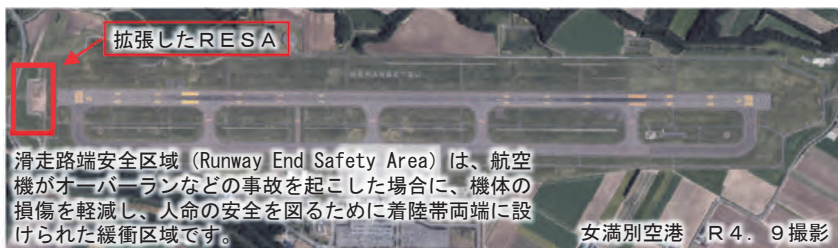


エプロン改良



#### ■ 滑走路端安全区域の拡張整備

航空法施行規則改正により滑走路端安全区域の大きさが規定されたため、必要な区域を確保するための拡張整備を進めており、令和4年度末までに女満別空港と紋別空港の整備が完了しました。残りの空港についても、引き続き整備を進めていきます。



RESA整備より軽減が見込まれる事故事例



オーバーラン事故



#### ■ 航空灯火のLED化

空港には、航空機の安全運航に必要な様々な照明があり、これらを航空灯火と呼びます。大きさ、色、光度が多種多様であるため、LED化が進んでいませんでしたが、技術開発が進み、2030年までにLED導入率100%を目指して更新事業を展開しています。

航空灯火LED化による電力使用量

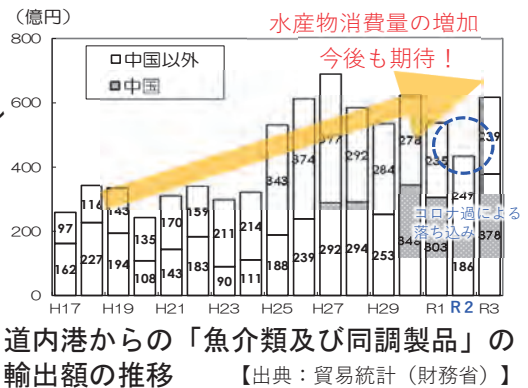
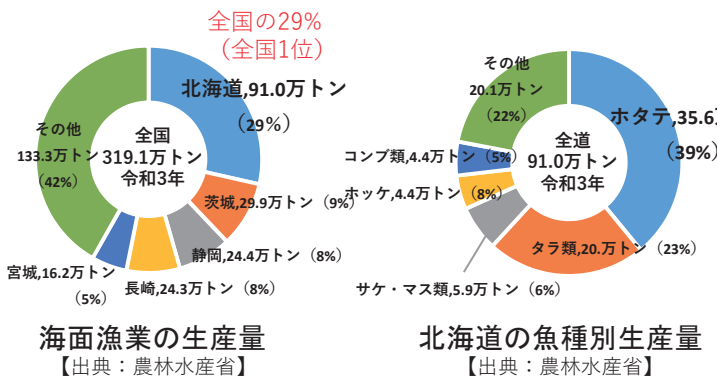


## (2) 漁港事業 (水産林務部所管)

※建設管理部で事業を実施

### ① 日本の水産業を支える北海道の漁港

北海道には、漁業活動の拠点として全国最多となる243の漁港（全国の約1割）が配置されており、サケ、ホタテガイをはじめとする漁業生産量は全国の約3割を誇っています。また、「北海道食の輸出拡大戦略」において、国外輸出額1,100億円を目標に掲げ、その実現に向けて「安全かつ良質な水産物」の安定供給を担う漁港整備など、北海道の基幹産業である水産業の健全な発展に寄与する取組を進めています。



### ② 重点的に取り組む施策

#### ■ 水産業の成長産業化

- 近年の日本食ブームを背景に、道産水産物の世界的な需要の増加が見込まれるため、輸出先国のニーズに対応した衛生的な屋根付き岸壁などの整備を推進します。

**整備前**

- 直射日光や雨による鮮度低下
- 鳥フンによる異物混入

野天での荷揚げ

➡

**整備内容**

- 鮮度保持
- 衛生的な品質

屋根の下での荷揚げ

**【事業効果】**

- 消費者の「安全・安心」志向に対応した水産物の安定供給が可能になる。
- 輸出が促進され、海外での消費が拡大する。

**令和3年度「全建賞（漁港漁場部門）」受賞！**

**整備後**

衛生管理型屋根付き岸壁

整備の効果 (ホタテ 輸出量)

整備前 6,788t (2015~2019年の平均)

➡ **輸出量が約1.5倍**

整備後 10,721t (完成翌年：2020年)

屋根下での荷揚げ (ホタテガイ)

HACCP (ハサップ) 認定を取得した加工場

国際的に高い評価を得ている高品質の道産ホタテガイ

とろろ 常呂漁港 (北見市)

## ■増大する災害リスクを踏まえた漁港の強靱化

- ・災害リスクに対応した漁港の整備を推進し、水産物の陸揚げ・出荷機能を将来にわたり持続的に発揮させるとともに、救援活動、緊急物資の輸送等の防災機能の強化を図り、地域の安全・安心を確保します。
- ・機能保全計画に基づく、予防保全型の老朽化対策を推進します。
- ・ドローン等のICT技術を施設点検に活用し、管理の効率化・省力化を図ります。

**整備前**

背後地の浸水被害が発生

**整備後**

護岸の高上げ

安全な漁港の利用が可能

**整備内容**

**【事業効果】**  
護岸の高上げにより、水産物の生産拠点を越波による浸水被害から守る。

びや うたすつ 美谷（歌棄）漁港（北美谷地区） すつつ（寿都町）

**整備前**

鋼矢板に腐食が発生

**整備後**

防食による長寿命化対策

**整備内容**

**【事業効果】**  
海水の影響で鋼材に孔食（錆穴）が生じ施設が倒壊しないように、低コストの対策で施設機能の延命を図る。

おとしべ 落部漁港（落部地区） おとしべ（八雲町）

## ■漁港機能の集約による漁村の活性化

- ・減少傾向にある漁業者の人数に応じた漁港機能の集約を図り、空いたスペースを増養殖の場として有効活用することで、漁業者の所得向上と漁村のにぎわいを生み出します。

**整備内容**

A漁港 B漁港

漁業者の高齢化や後継者不足により、漁港から船が減っていく・・・

A漁港 B漁港

漁港内の静穏域を養殖業に有効活用

漁船を集約 陸揚げ機能を集約

漁港機能の集約により「陸揚げ」と「養殖業」に役割を分担

漁港の有効活用による効率的な漁業振興（利用の減少した漁港をナマコ蓄養へ活用）

おとべ 第2種 乙部漁港（乙部地区）

陸揚げ機能（漁船）を集約

海水交換施設整備  
水質環境の確保  
ボックスカルバート

げんな 第2種 乙部漁港（元和地区）

港外海水を取水

大型のホタテ漁船を移動

ナマコ育成礁の設置

ナマコ蓄養エリア  
稚ナマコ放流

ウニフェンス設置  
（船外機船は航行可能）

おとべ 乙部漁港（乙部町）

「第5回インフラメンテナンス大賞」  
農林水産大臣賞授賞！